



第7回 盛大算数セミナー



盛山流・大野流 授業づくり入門

～授業準備の **い** **ろ** **は** と全員参加の授業へ～



「算数の授業準備って何から始めればいいのか？」
「教材研究って何をやるの？」
そんな悩みをお持ちの先生に向けて、授業づくりの
基本をわかりやすくお話しします。
算数が苦手な子どもも活躍できる工夫など、
明日から実践できるアイデアが満載です！



筑波大学附属小学校 盛山 隆雄 教諭

筑波大学附属小学校 大野 桂 教諭

「垂直、平行と四角形」の授業づくり

図形の概念を指導する際には、どのような準備をして、
どのように全員参加の授業をつくとよいかについて、
お話しいたします。図形の定義にあたる言葉を子どもか
ら引き出し、その言葉をもとに図形を弁別する。活動の
ある楽しい授業づくりについてのお話です。

「数と計算」「変化と関係」の授業づくり

「数と計算」「変化と関係」領域の指導では、授業づくり
において何を大切にしていこうかというポイントについて
お話しいたします。
数学的な見方・考え方を生き生きと働かせる子どもの
姿の具体を示しながら、明日の授業にすぐに役立つ内
容をお話しします。お楽しみに！

令和7年

8/23 (土) 14:00-16:30

(受付13:45～)

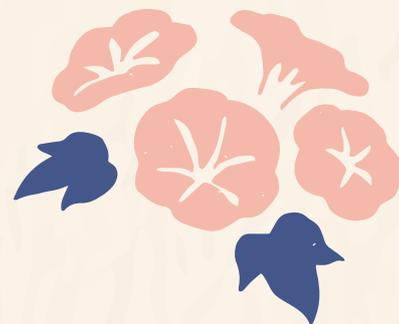
【定員】 50名 ※小中学校の先生、教育委員会、大学生対象

【参加費】 500円 (税込)

【お申込】 <https://seidai-sansu07.peatix.com>

【締切日】 令和7年8月22日 (金)

※Zoomによるオンライン開催です。



プログラム

- 14:00～14:05 開会の挨拶
- 14:05～14:55 メイン講演 (盛山先生)
- 14:55～15:00 休憩
- 15:00～15:50 メイン講演 (大野先生)
- 15:50～16:25 フリートーク&質問コーナー
- 16:25～16:30 閉会の挨拶

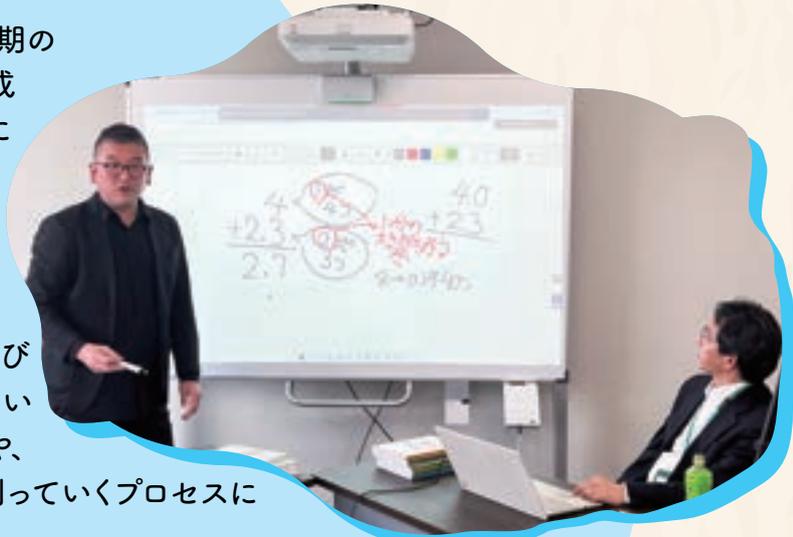


第6回 盛大算数セミナーの振り返り

前回の盛大算数セミナーでは、「算数で育む3学期の子どもの姿と学級づくり」をテーマに、1年間の集大成として、どのような子どもの姿を目ざすのか、そのために日々どのようなことを大切にしているのかについて、お話を伺いました。

盛山先生からは、「関わり合い、新しい価値を創り出す子どもたちに育てたい」というお話がありました。そのために、子どもたちが算数の問題を通してのびのびと語り合える、遊び場のような環境づくりを大切にしているとのことでした。「わからない」という素直な気持ちや、つまずきなどを生かしながら、学級で新たな価値を創っていくプロセスについてお話いただきました。

大野先生からは、「教師の先を歩む子どもたちに育てたい」というお話がありました。そのために重視していることとして、①子どもたちの思考や主体性を引き出すために待つこと、②仲間の考えを受け止め、意味づけ、価値づける関係を学級の中に育てることを挙げていただきました。さらに、数学的な見方・考え方を学級文化として根づかせるための声掛けや、子どもたち自身が学びをつくっていく姿を引き出すための考えなど、日々の学級づくりに生かせる工夫をご紹介いただきました。



皆さまからのご感想

参加費以上の大きな価値がありました。子どもがもつ見方・考え方に気づかせるという考え方が今まで自分の中になく、授業で身につかせているイメージだったので、授業が子ども主体になりづらかったと反省しています。休日にこのような質の高いセミナーに参加できてよかったです。

(30代)

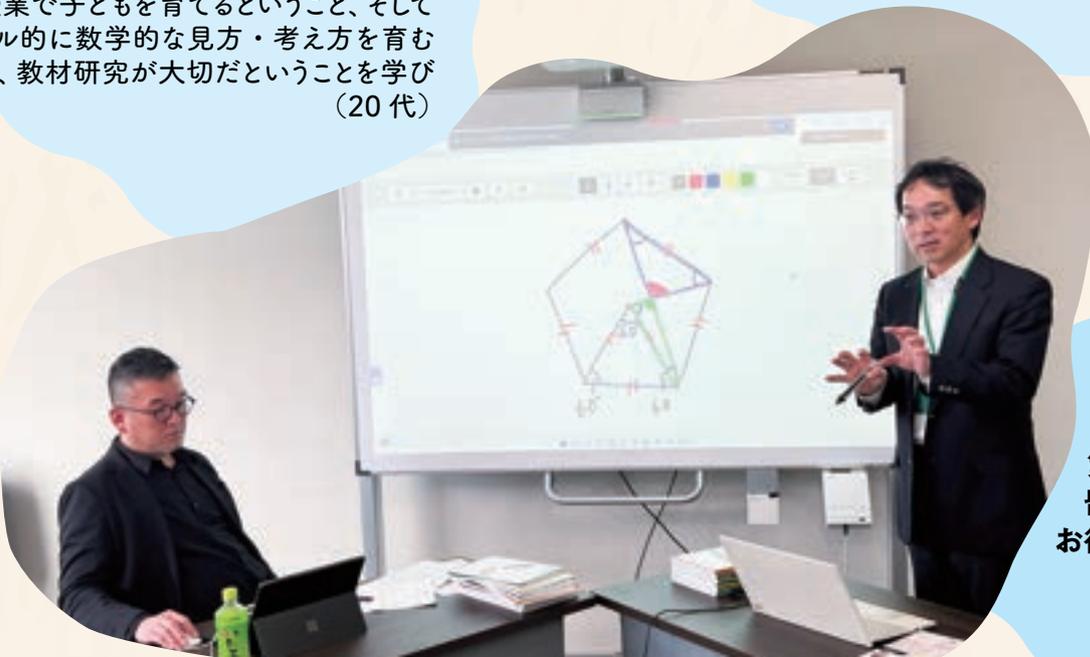
算数の授業で子どもを育てるということ、そしてスパイラル的に数学的な見方・考え方を育てるためには、教材研究が大切だということを学びました。

(20代)

100名を超える先生にご参加いただきました！
ありがとうございました。

私自身は体育を学級経営の中心として担任を務めています。先生方の算数への思いや見方は大変勉強になり、自分の学級経営にも大きく生かせると感じました。子どものもっているものを引き出すことが教師の役目であり、こちらが一方向的に価値を与えていくべきではないと改めて感じました。

(30代)



第7回セミナーも
皆さまのご参加を
お待ちしております！